

人間社会学部／ 地域社会コース・総合人間社会コース	職名	講師	氏名	坂無 淳
------------------------------	----	----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

私の研究分野は社会学とジェンダー研究です。具体的なテーマとしては、1 つめに高等教育におけるジェンダー平等についてです。大学院生や入職の段階、研究者になった後など各段階でのジェンダー差やワーク・ライフ・バランスについて研究しています。2 つめに、コミュニティと子育てについてです。日本の共同保育の事例研究や、近年はイギリスのロンドンでのコミュニティ開発と子育てについての研究をしています。3 つめに、大学教育における学生の主体的な参加を促す技法についてです。これまで学生が実際にデータを集め分析する科目を教えました。他科目でもファシリテーションなどの手法を取り入れています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 坂無淳, 2022, 「キャリアとワーク・ライフ・バランス—家事・育児とジェンダー」 櫻井義秀編著『ウェルビーイングの社会学』北海道大学出版会, 145-62.
- ・ 坂無淳, 2022, 「シンガポールの教育・子育てに関する政策と価値観」 田村慶子・佐野麻由子編著『変容するアジアの家族—シンガポール、台湾、ネパール、スリランカの現場から』明石書店, 51-75.
- ・ 佐野麻由子・坂無淳・田代英美・佐藤繁美, 2022, 「公共社会学科における高大連携授業の実践—鞍手高校 SGH 事業への参加とその効果」 『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(2): 67-76.
- ・ 坂無淳, 2022, 「大学院生の悩みとメンタルヘルス—ジェンダーの観点からの統計分析と支援策の検討」 『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(2): 1-18.
- ・ 坂無淳・平林真伊・河野銀子, 2021, 「シンガポールの高大接続と STEM 分野への女子の進学—大学入学基準と GCE—A レベルの数学の分析を中心に」 『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(1): 51-61.
- ・ 大久保淳子・坂無淳・柴田雅博, 2021, 「英国の初等教育におけるプログラミング教育の現状と動向—教科『Computing』の分析」 『福岡県立大学人間社会学部紀要』30(1): 127-39.
- ・ 堤圭史郎・坂無淳・阪井裕一郎, 2021, 「福岡県内自治体の男女共同参画推進状況—政策意思決定・行政組織・地域自治への女性参画に注目して」 『福岡県立大学人間社会学部紀要』29(2): 61-74.
- ・ Bolton, Matthew, 2018, *How to Resist: Turn Protest to Power*, London: Bloomsbury Publishing. (藤井敦史・大川恵子・坂無淳・走井洋一・松井真理子訳, 2020, 『社会はこうやって変える!—コミュニティ・オーガナイズング入門』法律文化社。) 翻訳担当: 第4章, 第6章, 第7章

②その他最近の業績

<学会発表・研究会>

- ・ 坂無淳, 「第2章 シンガポールの教育・子育てに関する政策と価値観」『変容するアジアの家族』出版記念セミナー（於北九州市立男女共同参画センター・ムーブ）, 5月15日.
- ・ 坂無淳, 2021, 「専門職とジェンダー・ステレオタイプ—大学教員は男性向き・女性向き職業と考えられているのか」広島大学高等教育研究資源ナショナルセンター2021年度公開研究会（於広島大学（オンライン））, 7月31日.
- ・ 坂無淳, 2020, 「日本の高等教育機関で実施されているジェンダー施策の実態と課題」日本ジェンダー学会第23回大会（於奈良女子大学（オンライン））, 9月27日.
- ・ 大久保淳子・坂無淳・柴田雅博, 2020, 「就学前のプログラミング的思考の育成カリキュラムの開発」国際幼児教育学会第41回大会（於広島大学（オンライン））, 9月19-30日.

<報告書・書評・評論・エッセイ>

- ・ 坂無淳編, 2022, 『「大学の男女共同施策の実態と課題に関する調査」報告書』福岡県立大学人間社会学部坂無淳.（全51ページ）
- ・ 坂無淳編, 2021, 『社会調査実習報告書2020 社会学系学科卒業生の生活と意識—卒業生調査の再分析から』福岡県立大学人間社会学部公共社会学科.（全158ページ）
- ・ 坂無淳, 2020, 「イギリスの豊富な実例からコミュニティ・オーガナイズिंगの手法を学ぶ」, WAN ウェブサイト.
- ・ 坂無淳, 2020, 「大石茜著『近代家族の誕生—女性の慈善事業の先駆, 「二葉幼稚園」』」『図書新聞』3456: 5.

③過去の主要業績

- ・ 坂無淳, 2018, 「日本の高等教育と科学技術におけるジェンダー政策—男女共同参画基本計画と科学技術基本計画を中心に」『福岡県立大学人間社会学部紀要』26(2): 19-35.
- ・ 坂無淳, 2015, 「大学教員の研究業績に対する性別の影響」『社会学評論』65(4): 592-610.
- ・ 坂無淳, 2014, 「都市における保育の共同—埼玉県新座団地の共同保育の事例から」『立教大学コミュニティ福祉研究所紀要』2: 61-80.

3. 外部研究資金

科研費, 基盤 B (研究分担者, 研究代表者: 宇井美代子), 人文社会科学系研究者のジェンダー平等の実態と改善に関する研究, 9620 千円, 2022~2024 年度

科研費, 基盤 B (研究分担者, 研究代表者: 河野銀子), 女子の理系進路選択拡大に向けた STEM分野の新たな高大接続モデル—4か国比較から, 15470千円, 2019~2022年度

科研費, 基盤 C (研究分担者, 研究代表者: 大久保淳子), プログラミング的思考の育成カリキュラムの開発—就学前~小学校の接続を焦点として, 3510 千円, 2018~2022 年度

科研費，若手研究（研究代表者），高等教育におけるジェンダー・バランスの不均衡とその是正に関する実証研究，3770千円，2018～2022年度

科研費，基盤B（研究分担者，研究代表者：藤井敦史），社会的連帯経済の「連帯」を紡ぎ出すものは何か——コミュニティ開発の国際比較研究，15730千円，2018～2022年度

4. 受賞

5. 所属学会

日本社会学会，日本ジェンダー学会，日本教育社会学会，北海道社会学会，西日本社会学会，ISA (International Sociological Association), RC32 Women, Gender, and Society, RC04 Sociology of Education

6. 担当授業科目

データ分析の基礎・2単位・1年・前期，教養演習・1単位・1年・前期，統計学・2単位・1年・後期，社会統計学Ⅰ・2単位・2年・前期，社会統計学Ⅱ・2単位・2年・後期，社会調査実習Ⅰ・2単位・2年・前期，社会調査実習Ⅱ・2単位・2年・後期，ジェンダー論・2単位・3年・前期，公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ・各1単位・3年・前後期，社会福祉学演習・2単位・3年・通年，演習・2単位・3年・通年，卒業論文・6単位・4年・通年

7. 社会貢献活動

2022～現在，飯塚市男女共同参画推進委員会委員

2022～現在，福岡県人づくり・県民生活部男女共同参画推進課 IT×ジェンダーギャップ解消モデル策定会議委員

2021～現在，福岡県福智町男女共同参画審議会委員

2019～現在，広島大学高等教育研究開発センター客員研究員

2018～現在，田川市男女共同参画センター運営委員・ゆめっせフェスタ実行委員

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等